

第1章 実施計画の概要

1. 計画の目的

「豊中市子ども読書活動推進計画」（以下「推進計画」という。）に基づいて具体的な事業を展開するにあたり、その事業の計画的かつ効果的な推進を図るために策定するものです。

2. 計画期間

この推進計画の期間は、平成17年度（2005年度）からおおむね5年間とします。5年間の取り組みの概要は次の表のとおりです。

	概 要
平成17年度	<ul style="list-style-type: none">・関係機関や市民団体等へ推進計画を周知する。・庁内に豊中市子ども読書活動推進会議を設置する。・関係機関や市民団体等の参画を得て、実施計画を策定する。・市民への周知のため、子ども読書フォーラムを開催する。
平成18年度	<ul style="list-style-type: none">・（仮称）豊中市子ども読書活動推進連絡協議会を設置する。・優先事業（拡充・新規）の取り組みを行う。・実施事業の進行管理を行う。（これ以降毎年）
平成19年度	<ul style="list-style-type: none">・引き続き事業の取り組みを行う。・推進計画の進捗状況の把握と事業評価を行う。・必要に応じて施策や事業の再検討を行う。
平成20年度	<ul style="list-style-type: none">・前年度の事業評価や再検討の結果を踏まえて、必要事業の取り組みを行う。

平成 21 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き必要事業の取り組みを行う。 ・推進計画の進捗状況の把握と事業評価を行い、今後の推進体制や取り組み等についての検討を行う。
--------------------	--

3. 推進体制の整備

○(仮称)豊中市子ども読書活動推進連絡協議会（以下「推進連絡協議会」という。）を設置します。

- ・推進計画を進めるにあたり、市民の参画による推進連絡協議会を設置し、事業の実施・調整、進行管理、評価等を行います。
- ・関係機関、市民団体等や行政職員により構成し、図書館が事務局となります。
- ・子ども自身の声を計画の推進に反映します。
- ・図書館協議会や豊中市次世代育成支援対策推進協議会と連携を図ります。

4. 進捗状況の把握と評価

○推進連絡協議会において、推進計画の進捗状況を把握・評価するとともに、必要に応じて施策や事業の再検討・調整を行います。

- ・評価の結果をホームページ等で公表します。
- ・図書館協議会や豊中市次世代育成支援対策推進協議会に評価の結果を報告します。

5. 推進にあたっての留意点

○子どもの主体的な読書を支えるための資料・施設の整備・充実や、子どものまわりにいる大人の関心や理解を深める様々な取り組みを進めるにあたり、次の点に留意します。

- ・子どもが主体であることを大切にし、子どもと子どもの読書について理解を深めます。

- 子ども自身の様々な体験を大切にし、子どもの豊かな成長や生きる力を育むものの一つとして読書を捉えます。
- 子どもの成長や発達に応じた読書とは何かを考えます。
- 目前の成果を求めるだけでなく、子どもの成長を見通し継続した読書活動を行います。
- 子どもがゆとりの中で本を楽しめるよう努めます。
- 子どもとともに大人も本を楽しむことを大切にします。
- 様々な情報がある中で、子ども自身が情報を読み解き、選択する力をつけることができるよう努めます。また、大人も本や情報を選ぶことについて留意します。
- よりよい読書環境をめざして継続した取り組みを行います。